

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	1
多機能事業所ループ	11
生活介護事業所ループ歩	15
放課後等デイサービス事業所あざみ	19
日中一時支援事業所あるば	21
はまきた地域活動支援センター	22
浜松市障害者相談支援事業所ぼるた	24
特定相談支援事業所ぼるた	26
事業報告書の付属明細書	28

平成 30 年度 みどりの樹事業報告

はじめに（1 年を振り返って）

平成最後の年度となる節目の 1 年も、大きな事故もなく無事に終わることができました。

振り返りますと、平成 13 年という障がい福祉を取り巻く様々な制度や考え方が大きくまた刻々と変わっていく時代にみどりの樹を立ち上げ、全力疾走で駆け抜けたあつという間の 18 年間でありますが、こうして時代の節目を迎えることができていることには、感慨深いものがあります。

昨今では、社会福祉法改正による社会福祉法人の制度改革により、非営利の公益性の高い法人としてこれまで以上に地域における役割を明確にし、より具体性をもって運営に取り組むことが求められるようになりました。一方で、福祉分野での人材不足は叫ばれて久しく、高い質の支援の担保を永続させていくための人材確保・育成は、他に漏れず当法人としても苦慮してきました。そういった、時代の変化や状況の中で福祉サービスを必要とする方にもその支援を担う職員にも「選ばれる法人」になるべく、以下に示す重点取組を中心に 1 年を進めてまいりました。おかげさまで、次年度開所予定の新事業所に向けた人材確保は今年度中に目途がつき、今年度半年の収支差額はマイナスではありますが、次年度以降へ向けての投資として、前向きに捉えています。育成面においては、特に支援者たる職員一人ひとりが自分の仕事に誇りと責任感をもって、自発的に行動する意識を高めていけるよう心がけました。

みどりの樹は、「現場」に携わる職員の想いを大切にしながら続ける法人でありたいと願います。

それぞれのその「想い」がみどりの樹の基本理念と常に結びついた発想に基づくものであるよう育むことが、私の最も大切な使命だと考えています。高いモチベーションを持ってこそ質の高い支援の実現があり、そういった状況を部門管理者や役員、評議員の皆さんとともに運営面からも支えていけるような組織作りを、これからも法人一丸となって目指していきたいと思えます。「令和」の時代も、益々信頼と安心を地域の皆さんとともに作り上げていけるよう邁進してまいります。

(理事長 山下勝康)

1 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

「みんなが生き生きと暮らす街に」という基本理念、「スマイル & ネバーギブアップ」という行動指針ともに、その言葉を職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、各所事務所に掲示しました。

理念の持つ意味を深めて解釈していけるよう、28、29 年度は内部研修を企画しましたが、今年度は具体的な取り組みを行うことはできませんでした。次年度以降、内部研修企画等でより深い浸透、解釈につなげていく取り組みを考えていきます。

一方で、理念の遂行については、街づくりという視点で「照個屋（てらこや）」を実施しました。障がいのある方たちの地域での自分らしい生活の実現に向けて、個別的な支援を丁寧に行うことはもとより、その地域自体を元気にしていくことの重要性にも着目し、障がいのある方たちのみを対象とするのではなく、地域で暮らすあらゆる方が一堂に会し、楽しい時間を過ごす場の提供を法人本部建物全面開放で行いました。企画段階から浜松社協浜北地区センターさんにも関わっていただき、地域

の様々な方々に運営協力もいただきました。

また、その他 31 年度稼働開始を目指した新事業所の整備計画も立案しました。様々な新たなチャレンジを行っていくにあたって、職員個々の自発性と、法人としての覚悟が求められる 1 年でありました。みどりの樹が取り組むべき内容を丁寧に検討し、私たちがすべきと確信した事柄についてはできないと決めつけずに、またあきらめずに必ずやり通す、こういった気概をもって取り組んできたことについては、行動指針に由るものだと考えます。

2 30 年度基本方針【「みどりの樹職員としての専門性を高めよう」】総括

内部研修や人事考課制度の導入などで、職員一人ひとりがなぜこの職業、みどりの樹を選択してきたのかというところまで立ち返り、そこから「障がいのある方を支援する」ということは、いったいどういうことなのか、それぞれの立場で考える機会を持ちました。

加えて、法人内での事例検討会と外部研修報告会を定例開催し、互いに支援の質を高め合う機会、新しい情報や考え方や、または組織の意思共有、チーム力向上を目指した取り組みをしてきました。また、人事考課制度の中では、組織性と専門性の両軸から評価をできる仕組みを導入しました。職員自身が自分の持っている強みに着眼しながら、一方で課題となる項目も認識し、管理者とともに設定する「個別目標」に基づいて自発的にスキルアップに臨む雰囲気作りのきっかけは構築できたと考えます。

その他、委員会活動の充実を図ることで、組織の一員としての役割の実感、達成感を得ること、成功体験を積むことで、次への意欲につなげていくことができました。

3 重点取組について

1) 職員の資質向上について

人事考課制度を、予定通り導入、1 年を通して実行しました。相対評価にならないよう個別に焦点を絞って評価していくことにより、できる限り客観的視点に立った処遇改善判断も実現できたと思います。

特に計画で重要視した職員個別の目標設定と達成のための具体的アクションプランの設定、そのモニタリングは部門管理者とともに丁寧にやっていきました。9 月に行った前期評価は、初めての試みであったためフローについてもたつきや混乱、職員全体の雰囲気としてもどこか他人事であったり義務感に基づく様子もありましたが、2 月の後期では、当初の目標をしっかり認識して面談に臨むなど、スキルアップに直結している実感、制度として成熟に向かっていく実感も持てるようになりました。

ただ、制度そのものについては全体を通して細かなところに目を向けると、修正・課題が必要な部分もいくつか見つかりました。まずは次年度以降も継続していくことを大切にしながら、より使いやすく機能的なものにバージョンアップしていくことも視野に入れていきます。

スキルアップに向けた内部研修も充実させました。人事考課制度を導入するにあたって、評価者となる職員に向けて評価者研修を行い、実際の評価業務に向けて準備をしました。その他研修委員会の企画では、他法人との合同研修や地域の先駆者のお話を聞く機会を設け、スキルアップを効率よく実現していくためのモチベーションアップに注目して研修を実施してきました。研修の最後では、事業所を超えたグループでお互いを高め合えるよう次年度 1 年かけてグループワークを行う仕掛けを行いました。これによって、自発的にモチベーションを保つ意識を持ち続けられるよう次年度につなげることができたと考えます。

2) 地域とのつながりと協同に向けた取り組みの実施について

当初計画に基づき、生活困窮対策、孤食の解消、地域コミュニティの強化を目指して、「おすそわけプロジェクト」として子ども食堂的な取り組みを目指して検討をしてきました。

委員会活動の取り組みとして、おすそわけプロジェクト企画委員会で内容を検討しました。検討には浜松社協浜北地区センターも参画していただき、広い視点でこの地域のことについて情報提供をいただきました。その中でまだまだ地域の中でみどりの樹の認知度が低く、この状況下で企画を強行しても足を運んでくださる方は少ないのではないかと、という課題が浮かび上がりました。一方で、地域の中には、様々な技術、得意分野をお持ちの方が披露する場がなく埋もれてしまっていることが多くあることもわかりました。そこで、浜北地区センターにも協力をしてもらいながら、そういった地域のいろいろな「チカラ」を発揮・披露する場をみどりの樹が作ることで、みどりの樹のことをより多くの方に知っていただく機会にしながら、地域そのものを元気にしていく一助になると考え、企画のシフトチェンジをしました。

具体的には、「照個屋」と銘打ち、法人本部建物をフル活用して様々なステージ発表やワークショップを1日かけて行いました。また、地域のシニアクラブの方々の協力もいただき、参加者みんなで餅つきを行い、ついた餅を皆さんに振る舞いました。当日は、小さなお子さんからご高齢の方までおおよそ130人の方にお越しいただき、大変盛り上がった企画とすることができ、地域とのつながりと協同という目的を達成できたと考えています。ご好評の声も多くいただいたので、次年度も継続して行っていこうと思います。

3) 地域ニーズへの対応・充足に向けて

当初計画に基づいて、平成30年5月に生活介護事業と就労継続支援B型事業それぞれ定員10名ずつの多機能事業所新設に向けての施設整備計画書を立案し、理事会承認を受けました。サービスの指定申請については、浜松市とのヒヤリング調書等に基づいた協議を経て、平成31年度の指定を受けられることが決定しました。

建物の新築については、平成30年5月に候補地を選定し、平成30年11月には土地購入の手続きを完了させました。また、平成31年2月に、造成工事と建築工事それぞれの業者選定を指名競争入札で行い、無事落札され平成31年3月より造成工事が始まりました。現段階で予定通り平成31年10月開所に向けて準備を進められています。

次年度は、サービスの中身について丁寧に検討していき、サービス定員が増えるだけでなく新たに事業所を設置することのメリットを最大限生かせるよう、他事業所との差別化を図っていきたいと思います。

4 会議

1) 理事会

日時・回	内容
5月29日(火) 第1回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、平成29年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、評議員会付議事項 3、経理規程の変更 4、施設整備計画の変更
	報告事項 1、理事長業務執行報告 2、社会福祉充実残額について
7月19日(木) 第2回理事会 (臨時理事会)	議決事項 1、施設整備計画における土地購入 2、設計業務契約 3、第1次補正予算 4、施設設備整備積立取崩
	報告事項 なし

11月27日(火) 第3回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、2次補正予算 2、放課後等デイサービス運営規程変更 3、経理規程の変更 4、契約事務細則の変更 5、法人組織規程の変更 6、建設請負契約を指名競争入札に付することについて 7、指名業者の選定 8、借入金融機関の選定 報告事項 1、理事長業務執行報告 2、監事業務監査報告 3、施設整備計画進捗報告 4、放課後等デイサービス事業実地指導報告
1月8日(火) 第4回理事会 (臨時理事会)	議決事項 1、施設整備計画の変更 2、造成工事請負契約を指名競争入札に付することについて 3、指名業者の選定 4、(株)ランドデザインとの造成工事監理業務委託契約 報告事項 なし
2月18日(月) 第5回理事会 (臨時理事会)	議決事項 1、建築工事請負契約 2、造成工事請負契約 3、施設整備計画資金計画の変更 報告事項 なし
3月18日(月) 第6回理事会 (定時理事会)	議決事項 1、平成30年度第3次補正予算 2、平成31年度事業計画 3、平成31年度当初予算 4、経理規程の変更 5、評議員会付議事項 6、平成31年度職員体制 7、法人組織規程の変更 報告事項 1、浜松市社会福祉施設等指導監査実施結果 2、施設整備計画進捗報告

2) 評議員会の開催

日時・回	内容
6月15日(火) 第1回評議員会	議決事項 1、平成29年度計算書類及び財産目録の承認 報告事項 1、理事会報告 2、社会福祉充実残額の計算結果
3月28日(木) 第2回評議員会	議決事項 1、報酬規程の変更 報告事項 1、理事会報告 2、施設整備計画進捗報告 3、浜松市社会福祉施設等の指導監査実施結果

3) 管理者会議

日時・回	内容
4月9日(火) 第1回	1、人事考課 2、理事会 3、事業報告案
5月26日(土) 第2回	1、1次補正予算
7月3日(火) 第3回	1、人事 2、ホームページリニューアル 3、施設整備 4、委託相談再編 5、理事会

8月8日(水) 第4回	1、施設整備 2、人事考課 3、外部研修
9月5日(水) 第5回	1、施設整備 2、人事考課 3、次年度人事 4、ホームページ・パンフレット 5、パソコン整備
10月3日(水) 第6回	1、非常勤時給再考 2、人事考課 3、次年度人事 4、理事会 5、研修・外部派遣
11月2日(金) 第7回	1、2次補正予算 2、人事考課 3、次年度人事 4、施設整備 5、組織規程の見直し
1月10日(木) 第8回	1、年度末までのスケジュール 2、次年度人事 3、理事会戦に向けて 4、パソコン整備 5、次年度イベント
2月7日(木) 第9回	1、入札 2、天竜高校購買部 3、個人情報取り扱い 4、次年度人事 5、処遇改善 6、内部研修予算 7、3次補正 8、次年度当初予算
2月26日(火) 第10回	1、スケジュール 2、委員会再編 3、個人情報取り扱い
3月4日(月) 第11回	1、次年度給与体系 2、人事考課

※6月、12月は開催ませんでした。

4) 運営会議

日時・回	内容
4月28日(土) 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備 4、見学受け入れ 5、稟議書 6、法人会議日程 7、イエローシート 8、もくもくまつり
5月26日(土) 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備 4、データ保存 5、利用者との連絡方法 6、稟議書 7、ボランティア 8、ヒヤリハット
6月26日(火) 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、ふれあい広場 4、食品表示法 5、委託相談再編 6、なぜなぜ分析 7、外部研修 8、防災
7月28日(土) 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、管理者会議報告 4、内部研修 5、施設整備 6、検便
8月25日(土) 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備 4、会計報告 5、人事考課 6、虐待防止委員会設置に向けて 7、草刈り機購入 8、つうしんリニューアル
9月22日(土) 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新事業所名称 4、時間外勤務取扱い 5、企画書 6、つうしんリニューアル 7、遅刻・有休の取り扱い
10月27日(土) 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、寄付金 4、つうしんリニューアル 5、通勤届
11月24日(土) 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備 4、実地指導報告 5、委員会再編

12月25日(火) 第9回	1、月次報告 2、委員会報告 3、委員会再編 4、施設整備 5、照個屋 6、IT化に向けて
1月28日(月) 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人事考課 4、イベント検討 5、ケース検討
2月23日(土) 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備 4、つうしん配布先 5、法人全体会議
3月23日(土) 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、つうしん配布先

5) 法人全体会議

日時・回	内容
6月6日(水) 第1回	1、理事会報告 2、施設整備 3、内部研修(事例検討会の進め方)
12月26日(水) 第2回	1、理事会報告 2、つうしんリニューアル 3、施設整備 4、研修報告(虐待防止)
3月29日(金) 第3回	1、理事会報告 2、労使協定労働者代表選出 3、施設整備 4、財形預金制度導入説明

5 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
業務改善検討	5/24、6/14、7/19、8/23、9/20、10/23、 11/13、12/20、1/24、2/21、3/19	・防災(危険個所調査、AED設置場所確認、避難経路確認、防災講座) ・個人情報シート等について
マニュアル作成	4/20、5/25、6/11、7/13、8/28、9/20、 9/25、10/19、11/30、12/14、1/18、 2/14、3/12	・不審者対応マニュアルの見直し、再整備 ・来所者記録の在り方と、個人情報の取り扱い の整理と見直し
研修	5/28、6/18、7/11、8/7、9/18、10/16 11/20、12/18、1/7、2/27、3/8	・事例検討会、研修報告会開催 ・他法人との合同研修開催(あくしす) ・法人全体職員研修開催
広報	5/23、6/19、7/17、8/21、9/18、10/17、 11/13、12/11、1/8、2/12、3/12	・みどりの樹つうしん編集業務 ・みどりの樹つうしんリニューアル検討・実行 ・ホームページリニューアル版作成
おすそわけP企画	5/23、6/20、7/14、7/18、8/22、9/19、 10/12、11/21、12/19、1/16、2/2、 2/20、3/17	・地域における公益的な取組を検討・実行 ・地域と寄り添う活動方法の検討・実行

6 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
29年度決算監査	平成30年5月17日 (指摘事項なし)	会計監査：山崎陽司 業務監査：遠山秀敏
30年度定期監査	平成30年11月8日 (指摘事項なし)	事業計画進捗、上半期月次報告 業務監査：山崎陽司

7 利用者実績

事業名	定員	30年度目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援	6	4.0	2.9	72.5%	48.0%
就労継続B型 (ライム・なないろカフェ)	20	24.0	22.9	95.4%	114.5%
自立訓練(生活訓練)	10	7.5	7.3	97.3%	72.7%
生活介護(さつき)	18	20.0	19.8	99.0%	110.0%
生活介護(まつぼっくり)	12	10.0	9.5	95.0%	79.2%
放課後等デイサービス	10	12.0	10.6	88.3%	106.0%
日中一時支援	7	5.0	3.5	70.0%	50.0%
地域活動支援センター	(20)	14.0	12.6	90.0%	—
特定相談	—	32.0	35.0	109.4%	—

8 生産活動

	実績値(円)	計画値(円)	目標達成率
弁当	14,924,253	14,000,000	106.6%
喫茶(なないろカフェ)	4,456,253	4,500,000	99.0%
ライム下請	4,762,641	4,300,000	110.8%
みかん下請他	201,406	—	—
ループ計	24,344,553	22,800,000	106.8%
さつき下請	1,402,697	1,190,000	117.9%
クッキー(さつき)	1,020,608	1,200,000	85.1%
パン・クッキー(まつぼっくり)	5,525,317	4,600,000	120.1%
樹脂粘土他	51,900	10,000	519.0%
ループ歩計	7,980,000	7,000,000	114.3%

9 職員体制

() 内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ			生活介護事業所ループ歩	
	就労移行支援	就労継続 B 型	自立訓練	さつき	まつぼっくり
管理者	1 (1)			1 (1)	
サービス管理責任者	1 (1)			2 (1)	
就労支援員	1 (1)	—	—	—	—
職業指導員	1.5 (1.1)	6.9 (4.2)	—	—	—
生活支援員			1.3 (1.2)	6.6 (4.0)	2.0 (1.6)
訪問支援員	—	—	1 (1)	—	—
目標工賃達成指導員	—	1 (1)	—	—	—
合計	2.5 (2.1)	7.9 (5.2)	2.3 (2.2)		

	放課後デイ
管理者 (兼務)	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員	5.2 (2)

	地域活動
管理者 (兼務)	1 (1)
活動支援員 (機能強化)	1 (1)
活動支援員 (基礎事業)	2 (2)

	委託相談
管理者(兼務)	1 (1)
相談員	1.5 (1.5)

	あるば
管理者(兼務)	1 (1)
支援員	2

	特定相談
管理者 (兼務)	1 (1)
相談支援専門員	1 (1)

10 借入金及び借入金償還実績

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	910,921	0	92,598,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	782,970	782,000	37,510,000	

単位：円

※利息補給は、NPO 法人活木活木(いきいき)森ネットワークの「木造公共建築物の整備資金等の借り入れに係る利子助成事業」によるもの

11 資金収支・財務状況

1) 資金収支予算対比

単位：千円(以下切り捨て)

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	213,694 (216,834)	201,497 (202,850)	12,197 (13,983)
施設整備等による収支	510 (0)	44,011 (29,888)	△43,500 (△29,888)
その他の活動による収支	29,000 (20,000)	386 (363)	28,614 (19,637)
当期資金収支差額	—	—	△2,690 (3,532)

() 内は、平成 30 年度当初予算

2) 資産・負債の推移

単位：千円

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	29・30 年度対比
流動資産	100,656	115,733	110,732	△5,000
固定資産	261,505	251,873	244,576	△7,296
資産合計	362,161	367,606	355,309	△12,297
流動負債	25,407	27,742	25,506	△2,236
固定負債	141,603	132,378	122,876	△9,502
負債合計	167,010	160,120	148,383	△11,737
純資産	195,151	207,485	206,926	△559

12 寄付金の状況

計 8 件 643,508 円

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日受け付け分)

※すべて、理事長決裁で頂戴いたしました

13 地域における公益的取り組み

サービスを利用されている方だけに限らず、地域の様々な方々に元気になっていただき、地域が元気になっていくことを目指して照個屋を企画しました。

楽しみながら、みどりの樹のことをもっと知っていただくことを目指して、31年2月5日に、様々な舞台発表、複数のワークショップの開催と餅つき、豆まきなど法人本部建物を全面開放して実施しました。それぞれのワークショップを主催するの、参加者もこれまでみどりの樹とはあまり接点のない方々も多く、みどりの樹にとっては、地域のつながりを作る大変有意義な取り組みとなりました。次年度も同様に、みどりの樹も地域の皆さんが楽しく元気になる企画として、実行していきます。

14 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1) 苦情受付と結果

4月3日	支援者の対応について (ご本人より)	4月4日 解決済	はまきた地域 活動支援センター
4月28日	他利用者とのトラブルと支援者の対応について (ご本人より)	4月28日 解決済	はまきた地域 活動支援センター

2) ヒヤリハット報告

利用者の安全確保に関すること	91件		
利用者間トラブルに関すること	16件		
利用者へのかかわり方に関すること	36件		
支援者の安全、健康に関すること	1件		
利用者家族とのかかわりに関すること	4件		
自動車運転に関すること	11件		
設備、備品等に関すること	36件		
運営管理、事務に関すること	46件		
生産活動に関すること	124件		
施設外他者とのかかわりに関すること	40件		
その他	22件	計	427件

3) 事故報告

4月13日	支援中の支援者のケガ	あざみ
5月28日	自動車接触事故(自車停車中の接触)	ループ
1月11日	自動車接触事故(対自動車)	ぼるた
2月7日	自動車接触事故(対自動車)	ループ歩
2月25日	自動車接触事故(対縁石)	ループ歩

多機能事業所ループ 事業報告

1 総括

稼働については、各事業とも当初の目標には及びませんでした。昨年度とほぼ同様の稼働率で 1 年を過ごしました。就労移行支援では、就職に結びついたケースはありませんでしたが、おひとりおひとりの目指す進路に向けて、丁寧にアセスメントすることに力を入れました。就労継続支援 B 型では、工賃の算出方法について検討をし、より多くの工賃がお支払いできるように、またみなさんのモチベーションアップにつながるよう考えました。自立訓練(生活訓練)では、定められた期間を終了する方々を中心に個々の今後の進路について考えることを通して、支援の方法について考えるきっかけを多くいただいた 1 年となりました。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

① ライム (就労移行)

重点目標

それぞれにあったはたらき方、就労先を一緒に考えていけるよう、アセスメントや定期面談を丁寧に行っていきます。また、昨年度に引き続き、特化プログラム SSP を実施し、職場や他事業所の見学・体験も効果的に進めるよう計画していきます。他に、就職後も自分らしくはたらけるよう、アフターフォローにも力を入れていきます。

振り返り

1 名の利用者が就労継続支援 A 型事業所へサービス移行しました。昨年度に続き、今年度も一般就職に結びついたケースはありませんでしたが、就労移行を利用される方々が今後どのような進路に進みたいのか、何を目標したいのかなどについて定期面談や見学、実習を通して一緒に考えました。既就職者のフォローアップでは、職場訪問や電話での相談・調整を通して、迅速に対応することで、ご本人とも企業とも困った時には頼っていただける関係を大切にしました。また、平成 28 年に入社された方が、寿退社するというケースにもかわらせていただくことがあり、感慨深いものがありました。SSP では、グループワークや企業見学、インタビューや合同面接会への参加を通して、今の自分を知ること、働くイメージを膨らませること、就職に向けた意欲を高めることを意識して取り組みました。

② ライム (就労継続支援 B 型)

重点目標

職員それぞれの専門性、想像力、共感する力を発揮し丁寧に寄り添うことで、利用者それぞれが「はたらく喜び」を実感できるように努めます。また、工賃の支払い体系を見直し、より多くの工賃をお支払いできるようにしていきます。

振り返り

今年度も定員以上の利用があり、新規利用のお問い合わせに対してお断りをするケースが数件ありました。4 月から「皆勤手当」を導入したことにより、利用者の喜びやモチベーションアップ、工賃アップにつながりました。生産活動において、下請け作業では、これまでもお付き合いをいただいている企業から昨年度に続き新しい作業をいただいたことで、利用者のやりがいや自信につながり、仕事の幅が広がりました。また、食器棚の撤去や部品保管容器の取替など環境整備や品質管理においても気を

配りました。弁当事業では、新規のお客様や仕出し弁当の注文が増えたり、幼稚園や児童クラブからの注文も安定していただいたりすることができました。また、バラエティに富んだ新しいメニューを取り入れたり、お客様にお届けする際に使用する発泡スチロールにお弁当の PR ステッカーを貼ったりと新たな取り組みをしました。生産活動におけるヒヤリハット件数が他事業所に比べて多いため、職員それぞれの気づきを大切にしながらも、①二度同じことを繰り返さないこと、②職員全員で受け止め、今後につなげる手立てを考えて共有すること、を目的としたヒヤリハットの検証を職員会議時に月ごとまとめて行うようにしました。

③ なないろカフェ（就労継続支援 B 型）

重点目標

職員それぞれの専門性、想像力、共感する力を発揮し、丁寧に寄り添うことで利用者それぞれが「はたらく喜び」を実感できるように努めます。また、アイドルタイムを活用して新たな活動ができるよう工夫していきます。

振り返り

今年度、レジシステムを新しく導入しました。利用者の方は興味と不安とがあるように感じられたため、まずは時間のある時に職員と一緒に練習を行うことから始めました。職員が隣にいて安心して取り組み、「できた」という成功体験が大きな自信につながったように感じています。利用者個人の振り返りノートを作り、1 日の振り返りを記入してもらい、職員からもコメントを書くようにしました。自分のできていることに着目することができたり、どんなことで悩んでいるのかを職員も知ることができたり、支援の方法をより深く考えることができました。また、モニタリング時は全職員が参加し、ご本人や職員の思いを聴く・知る良い機会にすることができました。アイドルタイムの客数が伸び悩んでいたため、アイドルタイムを活用する新たな試みとして、みどりの樹 OG の方の協力のもと、手芸倶楽部を開催しました。少人数でのんびりゆったりした雰囲気の中で編み物などをし、継続してきてくださる方もいるため、今後も続けていきたいと考えています。他に、静岡大学情報学部の学生によるプログラミング教室を行い、10 名の小中学生が参加しました。カフェとしての役割だけでなく地域交流の場として地域の方々に協力していただきながら楽しめる場を提供していきたいと思えます。

④ みかん（自立訓練（生活訓練））

重点目標

多様なニーズ、個々の特性に合わせたプログラム作りを模索していきます。また、職員それぞれの専門性、想像力、共感する力を発揮し、丁寧に寄り添います。

振り返り

「はたらく力」「生活する力」「つながる力」の 3 本柱を基に、利用される方の強みを大切に、それぞれの目標に沿った支援ができるよう心掛けて取り組みました。今年度は利用終了後に就労を目指す方が多く、様々な就労施設を見学し、他事業所を知ることから始め、プログラムの SST や生活講座等を通して就労に必要なコミュニケーションや集中力を利用者の皆さんとともに考え学ぶことができました。また職員の持っている力を十二分に発揮し、挑戦することの楽しさ、感動を一緒に感じることでできた一年となりました。その反面、利用期間が 2 年と定められた中で一人一人にあった支援について考えさせられることも多く、利用される方の思いを受け止めきれなかったのか日々自問自答することもありました。定められた期間ではありますが利用者の思いに常に寄り添い丁寧な支援ができるよう今後も心掛けていきます。

2) 行事等

4月	掛川城に行こう「大人のワークショップ in 竹の丸」、餃子パーティー、出張 SSP(見学)、お茶会、お結び会
5月	もくもくまつり、飛竜まつり、出張 SSP(見学)
6月	ふれあいコンサート、合同スポーツ大会、出張 SSP(見学)
7月	プチイベント(七夕)、お結び会、出張 SSP(合同面接会)、歯科検診、流しそうめん会
8月	光の園まつり、大掃除&暑気払い、タダ納涼祭、浜北 294 くさかり隊、保護者会
9月	日本ロック鉄板焼き大会、ふれあいスポーツ大会、まつぼっくりまつり、防災訓練、なないろ・みかん合同レク
10月	収穫祭、元気ライブ、プチイベント(ハロウィン)、お月見カレー
11月	日帰り旅行、さつきおしるこ会、出張 SSP(だんだん 20 周年祭、ビジネスマナー研修、障害者雇用企業見学会)
12月	地域防災、クリスマス会、クリスマスチキン、大掃除&忘年会、カラオケレク
1月	初詣&ピザパーティー、ボーリング&カラオケ、出張 SSP(障がい者雇用促進セミナー)、ゲーム・食事会、手作りレク
2月	バレンタイン、プチイベント(節分)、照個屋、お菓子作り
3月	いちご狩り、保護者会、避難訓練

3) 生産活動

① 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	14,924,253 円	14,000,000 円	106.6%
喫茶事業	4,456,253 円	4,500,000 円	99.0%
ライム下請事業	4,762,641 円	4,300,000 円	110.8%
その他	201,406 円	—	—
合計	24,344,553 円	22,800,000 円	106.8%

② 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援		自立訓練（生活訓練）	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
30 年度	8,144,389	24,531	961,466	23,450	344,641	2,497
29 年度	8,605,700	23,971	965,218	15,928	398,242	2,585

時給設定 ① 320 円 ② 270 円 ③ 170 円

ボーナス 夏季 5,000 円～1,000 円 冬季 10,000 円～3,000 円 決算 20,000 円～10,000 円

※作業従事率により金額決定

業務手当 調理場手当 1 日 200 円（調理場担当者、弁当箱洗い当番、集計係に支給）

皆勤手当 ①2,000 円/月 ②1,000 円/月

3 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			自立訓練（生活訓練）		
		延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比
4 月	22	63	2.9	47.7	487	22.1	110.7	186	8.5	84.6
5 月	22	71	3.2	53.8	526	23.9	119.6	163	7.4	74.1
6 月	21	74	3.5	58.7	501	23.9	119.3	157	7.5	74.8
7 月	22	72	3.3	54.6	513	23.3	116.6	153	7.0	69.6
8 月	20	54	2.7	45.0	478	23.9	119.5	164	8.2	82.0
9 月	21	52	2.5	41.3	455	21.7	108.3	156	7.4	74.3
10 月	23	62	2.7	44.9	549	23.9	119.4	185	8.0	80.4
11 月	23	61	2.7	44.2	508	22.1	110.4	188	8.2	81.7
12 月	22	60	2.7	45.5	503	22.9	114.3	173	7.9	78.6
1 月	21	56	2.9	47.6	443	21.1	105.5	112	5.3	53.3
2 月	20	58	2.9	48.3	456	22.8	114.0	110	5.5	55.0
3 月	22	59	2.7	44.7	515	23.4	117.0	136	6.2	61.8
合計	259	746	2.9	48.0	5934	22.9	114.6	1883	7.3	72.7

生活介護事業所ループ歩 事業報告

1 総括

前年度に引き続き特別支援学校の実習生や新規利用希望者を積極的に受け入れた結果、31年4月1日現在さつきでは新規受け入れが困難な状況となっています。この点については31年10月開所予定のループ奏の情報を本人及びご家族にお伝えし選択する機会を持つことにより状況が変わる可能性も視野に入れていきます。前年度のさつきに続いて今年度はまつぼっくりに指定寄付をいただき、休憩室の畳の張替・作業室テラスの床の張替を行いました。31年度は予算を組んでまつぼっくり屋根・外壁の修繕を行う予定です。全体として重点目標を中心に職員間で連携して取り組むことができましたが、課題も残りました。次年度以降、単年ではなく継続的に行うことでより成果が得られるように取り組んでいきます。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

① さつき

重点目標

- ・おからクッキーの認知度を高めるために浜北区内で販売できる機会を増やせるよう努めます。
- ・職員間で日々情報を共有し統一した支援を行います。
- ・ヒヤリハットを有効に活用して同じ状況が繰り返し起きないようにします
- ・日課に取り入れているレクリエーションのバリエーションを増やして充実を図ります。

振り返り

さつきのことを地域のより多くの人に知ってもらおうと近隣の店舗等でおからクッキーを販売しようと試みましたが、実施にはつながりませんでした。改めてできることを検討し、継続的に取り組んでいきます。

情報共有については、定期的な職員会議を実施することで、非常勤職員も含めた利用者に関する情報を共有できており、職員の報連相に関する意識の高まりとともに連携がスムーズになりました。ヒヤリハットに関しては、同じ状況が起きる数は減っているのですが振り返りの効果はありましたが、まだまだ生かされていない部分もあるため、今後は毎月確実に振り返り、情報を共有し再発をできる限り防げるようにします。

また、ボランティアさんに大型紙芝居を披露してもらったり、社協からレク用品を借りてレクリエーション活動を行ったり、レクリエーションのバリエーションを増やすことはできました。利用者にも好評なものは継続して行っていきたいと思えます。

②まつぼっくり

重点目標

- ・楽しいと思えることを見つけて家族やまつぼっくり以外とのつながりを持てるよう支援します。
- ・日々の業務の中で支援方法の振り返りを意識して行い職員間で統一した支援を行います。
- ・職員が利用者とのコミュニケーション技術の向上に努め、情報保障を確実にいきます。
- ・利用者の言動を広い視野で捉えて可能性を見出す視点で支援します。

振り返り

日々のケース記録記入時に利用者の様子を共有し、必要に応じて支援方法の見直しについて職員会議で検討しました。利用者とのコミュニケーション技術については、手話サークルに入った職員もあり、利用者が理解しやすいように伝えることや利用者が伝えたいことを理解することの難しさを改めて痛感したことで、技術向上の意識が高まりました。

楽しみながら生活する力を身につけようと調理実習を定期的に行いました。七夕、お彼岸等季節の行事に合わせたメニューにすることで、生活力の向上とともに利用者の楽しみとしても定着しました。年末には恒例の買い物レクも行いました。

作業面では29年度に新しく始めた作業の内イス脚カバー作りが利用者の活躍の機会となりました。

生活面では将来を見据えて近隣の事業所でショートステイを定期的を経験する利用者が増えました。また、利用者がまっぼっくりや家族以外とつながりを持てるようにかかわりを持つよう努めましたが、利用者の楽しみややりたいことを真に見出すためのアセスメントや声なき声くみ取る丁寧なかかわりを持つ事には、まだまだ課題を感じています。次年度以降もあきらめずに丁寧にかかわりを持って行きたいと思います。

2) 行事等

4月	メーデーフェスタ(ま) 静通研販売(ま) お花見(さ)
5月	日帰り旅行(ま) もくもくまつり(さ・ま) こいのぼりランチ(ま) 電車の旅(さ) 飛竜まつり(さ)
6月	日体祭(ま) ふれあいコンサート(さ・ま) 浜北合同スポーツ(さ・ま) 静岡県ろうあ者大会販売(ま)
7月	七夕ランチ(ま) 友愛の里まつり(さ・ま) イエローシートキャンペーン(ま) ボランティア感謝デー(ま) ヤマハ発動機浜北工場夏祭り(さ・ま) ヤマハ豊岡工場夏祭り(ま) プール(さ)
8月	浜名梱包夏祭り(ま) 大掃除・お疲れ様会(ま・さ) 流しそつめん(ま) ろう学校夏祭り(ま) プール(さ)
9月	わ西部地区ふれあいレクリエーション(さ・ま) 日本ロック鉄板焼大会(さ) まっぼっくりまつり(さ・ま)
10月	ライム収穫祭(さ・ま) 元気ライブ(さ) 労福協まつり(さ・ま) 天竜特支文化祭(さ) 厚生会まつり(さ)
11月	わ本人研修会(ま) 視覚特支文化祭(ま) 浜北ふれあい広場(さ) おしるこ会(さ・ま) ヤマハチャリティーミュージカル(さ・ま) あらたま協働センター祭り(ま) 中瀬協働センター祭り(さ) 語ろう会販売(ま)
12月	地域防災訓練(さ) やまびこ会クリスマス会(ま) みどりの樹クリスマス会(さ・ま) 大掃除・お疲れさま会(さ・ま)
1月	初詣(さ・ま) ふれあいフェスティバル(ま) 調理実習(ま) 浜北農協祭(さ)
2月	節分(さ・ま) 防災センター見学(ま) 手話のつどい販売(ま)
3月	お花見と大井川鉄道(ま) 日帰り旅行(さ) みみの日大会販売(ま)

3) 生産活動

① 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
さつき（下請）	1,402,697 円	1,190,000 円	117.9%
さつき（クッキー）	1,020,608 円	1,200,000 円	85.1%
まつぼっくり（パン・クッキー）	5,525,317 円	4,600,000 円	120.1%
まつぼっくり（樹脂粘土等）	51,900 円	10,000 円	519.0%
合計	8,000,522 円	7,000,000 円	114.3%

② 工賃支払実績

単位：円

	さつき		まつぼっくり	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
30 年度	1,060,600	3,982	1,984,278	16,228
29 年度	1,181,250	4,474	2,033,096	15,402

3 利用者状況

事業	稼働日	さつき			まつぼっくり			生活介護 計		
		延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比
4月	22	434	19.7	109%	201	9.1	76%	635	28.8	96%
5月	22	437	19.8	110%	204	9.3	78%	641	29.1	97%
6月	22	443	20.1	111%	205	9.3	78%	648	29.5	98%
7月	23	448	19.4	107%	205	8.9	74%	653	28.4	94%
8月	21	397	18.9	105%	193	9.2	77%	590	28.1	93%
9月	21	392	18.6	103%	184	9.2	77%	576	27.4	91%
10月	23	451	19.6	108%	203	9.2	77%	654	28.4	94%

11月	22	459	19.9	110%	206	9.4	78%	665	30.2	100%
12月	21	415	19.8	111%	198	9.4	78%	613	29.2	97%
1月	20	410	20.5	113%	209	10.5	88%	619	30.9	103%
2月	20	385	19.2	106%	211	10.6	88%	596	29.8	99%
3月	22	472	21.4	118%	211	9.6	80%	683	31.0	103%
合計	259	5143	19.8	111%	2430	9.5	79%	7573	29.2	97%

放課後等ディサービス あざみ 事業報告書

1 総括

① 基本報酬の見直し

平成29年度まで一律の単価設定となっていた放課後等ディサービスの基本報酬が平成30年度より障害児の状態像を勘案した指標が設定され、報酬区分が設定されました。それにより、あざみは指標該当以外の報酬区分2となり、給付費減となりました。職員が節約を心掛けながらも、利用者にはプラスになる支援を目指し活動しました。

② 実地指導（9月12日）

改善指導1件 欠席時対応加算において、記録がなく請求してしまった日があり、その後返還し、今後の改善策として主任、管理者のチェック体制をとるように改善しました。

助言指導1件 虐待防止のための具体的措置の整備、明示をするようにと、ご指導をいただき、12月に統括管理から内部研修として虐待防止研修報告を受け、理事長を責任者とする虐待防止委員会を設置、掲示しました。

③ その他

おやつボランティアさんのご協力をいただき、手作りのおやつが提供できました。ボランティアさんとの話し合いで野菜を中心としたおやつにさせていただきました。野菜への関心が芽生え、「家では嫌がっていたのに、あざみでは食べられるのですね」とご家族からも好評で、今後もご協力をいただけると幸いです。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

重点目標

・活動プログラムの充実

子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を自分で選んで取り組めるように多彩な活動プログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫していきます。

・環境設定

小学1年生から高校3年生が同じ空間で過ごすことから、お互いの行動が刺激になる事が懸念されます。問題行動を未然に防ぐために、今以上に環境設定を充分に行い、安定を図っていきます。

振り返り

楽しく過ごしたい子どもの思いと、安全に楽しく過ごしてほしい保護者、支援の在り方を踏まえ、環境設定に重点を置き支援しました。年齢による行動の違い、障害特性からの行動、感覚過敏の子を考慮すると、常に見守りを必要とする子には担当者が付き添い活動をしました。また不穏時や休息を必要とする時の場所を確保できました。それにより利用者のケガがなく過ごせたと思います。

活動プログラムにおいては、本人が希望してくる事を大切に支援をしていきました。また支援者が、子どもたち個々の不安定な時はこの作業、この遊びで気持ちの切り替えができる、落ち着くことができること探し丁寧に対応することができたと思います。

高校生になり小学生の行動が気になり不穏になった時は、場所を離れて自立訓練みかんの見学、地活に参加させていた
 だくなど、大人の方とのかかわりを持てる機会も増やしています。課題として、利用者と支援者の距離の取り方が問題として見
 えました。甘える事と甘やかす事の違いを考えながら、利用者にプラスになる支援を目指して行きたいと思います。

2) 行事等

	行事	創作
4月	始まりの会 お結び会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日 もくもくまつり	こいのぼり 母の日プレゼント
6月		壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり 流しそうめん	七夕飾り
8月	外食体験 ウォット 映画 カラオケ	
9月	トレインフェスタ まつぼっくりまつり	はりねずみ
10月	お月見会 収穫祭 芋掘り ハロウィン	ハロウィン衣装
11月	おしるこ会 ミニ運動会	壁面飾り もみじ
12月	親と子のクリスマス会	クリスマス飾り
1月	プログラミング教室	壁面飾り 鬼
2月	豆まき 照個屋	ひな祭り顔はめパネル
3月	ひな祭り ディキャンプ 卒業生を送る会 頑張りましたの会	壁面飾り さくら
毎月	誕生会 避難訓練	

3 利用者状況

① 月別利用者数 (定員 10 名 登録者 21 名)

あざみ(定員 10)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	25	27	26	26	24	25	27	26	24	23	24	25	302
延利用者数(実績)	283	284	271	294	271	234	293	260	276	225	246	260	3,197
1日平均利用者数	11.3	10.5	10.4	11.3	11.3	9.4	10.9	10.0	11.5	9.8	10.3	10.4	10.6
稼働率(%)	113	105	104	113	113	94	109	100	115	98	103	104	106

② 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	42	50	50	49	49	62	302
年間利用者延人(人)	513	558	613	560	554	399	3,197
平均利用者数(人)	12.2	11.2	12.3	11.4	11.3	6.4	10.6

浜松市地域支援事業(日中一時支援) 事業報告

1 総括

放課後等サービスあざみの活動と一体化した支援を行いました。利用実績数が少ないことから家族のレスパイトを目的で利用されている状況が、うかがわれました。しかし、12月に入ってから、他の放課後支援事業所を利用されている方が、様々な理由からあるばをひと月に数回利用されるケースが増えてきました。利用者が落ち着いて過ごす居場所としての役割から、地域の放課後事業所との関係づくりが、今後の課題であると感じました。また保護者からは庭が広く思い切り遊ぶことが出来る事業所という理由で利用したいとの声をいただきました。良い環境が子どもたちの成長にプラスとなるように、今後も安全に配慮し活用していきたいと思えます。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

重点目標

子どもが好きな遊び、リラックスするための活動を自分で選び取り組めるよう活動プログラムを検討していきます。低学年利用者には、排せつや手洗いなどの日常生活の基本動作を楽しく行うことができるような言葉かけを心掛けていきます。

振り返り

一週間のうち1日、2日の利用の方が多く、そのためか、来所するとすぐに活動を始め、思い切り体を使い遊んで、帰られる利用者が多くみられました。安全に楽しく過ごしていただくために、低学年の利用者は常に見守りを続けました。

また排泄などの基本的な生活習慣の習得は、無理強いせず、その子に合った方法や、言葉かけで誘ってみることを繰り返し支援しました。高学年の利用者は、学校生活での辛さや、友達関係での悩みを話される方もあり、聞き手として支援を行いました。利用者の気持ちに沿うことはできませんが、行動をするのは本人であることを大切に考えて、支援したいと思えます。

3 利用者状況

① 月別利用者数 (定員7名 登録者数20名)

あるば(定員7)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	25	27	26	26	24	25	27	26	24	23	24	25	302
延利用者数(実績)	82	89	88	89	89	75	87	94	87	71	97	89	1,034
1日平均利用者数	3.3	3.3	3.4	3.4	3.7	3.0	3.2	3.6	3.6	3.1	3.9	3.6	3.4
稼働率(%)	47	47	48	49	53	43	46	52	52	44	58	51	49

はまきた地域活動支援センター 事業報告

1 総括

外出企画を多く実行していきました。ミーティングの時間では行きたい場所もアンケートを取り、普段の活動以外にも外出することで利用者の表情、好きなことやお金の使い方など新たな一面も数多く知ることができたことは良かったと思います。参加者の「いきいき」とした様子が見られました。一方、若年層の参加率が高い中、高齢の方の「いづらさ」が少しずつみられたこともあり、ゆったりとした時間を過ごしたいという思いをくみ取り、プログラムを行いました。参加する人にとって充実した時間が過ごせる動きや仕組みづくりをどう実現するか、苦戦しながらイマジネーション豊かに利用者の思いと足踏みを揃えて楽しく活動を行いました。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

重点目標

ボランティアさんとのつながりをこれまで以上に意識して、より地域に根差した活動にしていきます。G-HAND、精神保健福祉センターの「ここぼら」、浜松市社協浜北地区センター、聖隷クリストファー大学、静岡大学の方々とのこれまでのつながりを大切に、またそれ以外の新しい出会いも大切にしながら、それぞれの方たちがより一層、意欲的に楽しんで活動していただくことで、利用者の方たちの充実した生活につながっていくよう工夫していきます。

振り返り

「今日は〇〇さん来ないの?」と顔が見られないと残念に思うくらい、多くの利用者が心開くボランティアさんとの出会いがありました。継続的にボランティア活動が続けるのが難しいなかで、少しでも時間を見つけては参加していただき、利用者にとっても充実した時間を得られました。この出会いは私たちにとっても大きな喜びであり、大変心強い存在です。地域の人がボランティアとして根付いていくことは理想の形であり、今後も定着していけばと思います。職員として活動の雰囲気や環境づくりはもちろん、ボランティアで参加していただくことの「感謝」、そして「想い」をくみ取ることを大切にして関係づくりをより一層、丁寧に行います。

2) 具体的支援内容

日程	イベント名	参加者数(人)
4月14日	お結び会	4
5月19日	もくもくまつり	9
6月16日	そうだ、買い物に行こう	9
7月14日	お結び会(流しそうめん)	5
8月4日	はまかぜ・みどりの樹合同カラオケ大会	5
8月17日	ダムをみる、食べる(太田川ダム見学ツアー)	7
9月29日	まつぼっくりまつり	4
10月6日	収穫祭	14

10月12日	お結び会	15
10月28日	佐久間ダム見学ツアー	12
11月23日	おしるこ会	3
12月22日	法人クリスマス会	14
1月19日	新春♠️ボーリング&カラオケ大会	10
3月9日	男子会	5
3月22日	女子会	7
毎週水曜日 15:00~17:00	なないろカフェにて「いっぷく」 *カフェを利用する感覚で、自由に集え、交流する時間。	1回平均 16
10月19日(金) 18:00~20:00	勤労者の集い 旅行、カラオケや飲み会などを通じて行う、就労している人たちの交流会。	1回平均 2
月に1~2回 15:30~17:30	ゲーム会 *トランプやUNO、創作ゲームなどを通して楽しく交流する会。	1回平均 12
毎週金曜日 16:30~17:20	音楽クラブ *ピアノや、合唱や楽器演奏を通して、音楽を楽しむ会。	1回平均 8
毎月第2・4木曜日 16:00~18:00	パソコン教室 *ボランティアの協力で、パソコンの基礎的な操作法をまなぶ教室。	1回平均 12
12月12日(水) 1月31日(木) 3月28日(木) 10:00~14:00	シニア倶楽部 *シニア向け、のんびりゆったりした時間を過ごせるようなプログラム。	1回平均 2
毎月1回 15:00~17:30	地活カフェ *地域交流室にて飲み物を飲みながらゆっくりと過ごす会。	1回平均 8
月2~3回 15:00~17:30	カラオケ *仲間と一緒にカラオケを楽しむ会。	1回平均 15

3) 利用状況

月別延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	296	276	262	290	269	238	303	272	250	235	234	211
磐田市	21	12	0	0	0	0	0	0	13	2	3	13
合計	317	288	262	290	269	238	303	272	263	237	237	224
1日平均	13.8	13.1	11.9	12.6	12.8	11.3	12.6	11.8	13.2	11.9	11.9	10.2

平成 30 年度 浜松市障害者相談支援事業所による 事業報告

1 総括

基幹相談支援センターが起動しはじめ、浜松市全体の相談支援体制強化がなされるなか、浜北区の一相談支援事業所としてどのようなポジションを取り、その役割を担っていかなくてはならないか、ということ強く意識しながらすすんできた一年間だったと思います。自らの支援力を上げるための努力はもちろんではありますが、複雑な状況の虐待疑いや深刻な事情を抱えた家族、一人暮らしの方などに対して、区の社会福祉課・長寿保険課、地域包括支援センターや在宅介護支援専門員、他の相談支援事業所等の協力を得、連携して支援しなければならないケースがあり、その支援経過を通して地域連携力、ひいては地域包括支援へ向けての体力作りができたのではないかとおもいます。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

重点目標

- ・障がい者総合支援法の改正への円滑な対応・準備をしていきます。特にモニタリング期間の見直しや新設の加算などを制度に則した算定で行い、健全な事業運営を目指します
- ・利用者の「できる」に着目した支援を心がけます。個別ニーズの把握からサービス提供事業所との連携を密に図り、個別支援計画に連動するサービス等利用計画の作成を行い、利用者自身が前向きに元気になるような計画の実現を目指します
- ・顔の見える関係づくりを意識して、従来の関係機関だけでなく、基幹相談支援事業所をはじめ、新設される事業所や機関とのかかわりも積極的に築いていきます

振り返り

地道な利用者の方との対話の中で、その方のおもい、真に求めていらっしゃることを見出していくようにしてきましたが、それをどう表現し具体的な支援に結び付けていくかという事では、力不足を強く感じました。

地域連携のための関係づくりでは、とくに自立支援連絡会の地域課題検討委員会、障がい理解啓発委員会活動を通して、当事業所なりのはたらきかけが行えたのではないかと思います。

2) 支援方法

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別ケア会議	関係機関	その他	合計
296	146	147	384	69	34	420	7	1,503

3) 相談内容等

相談内容	件数	相談内容	件数
① 福祉サービスの利用に関する支援	375	⑧ 家計、経済に関する支援	143
② 社会資源の活用に関する支援	139	⑨ 生活技術に関する支援	74
③ 障害や病状の理解に関する支援	46	⑩ 就労に関する支援	160
④ 健康・医療に関する支援	227	⑪ 社会参加に関する支援	7
⑤ 不安の解消・情緒安定に関する支援	124	⑫ 余暇活動に関する支援	27
⑥ 保育・教育に関する支援	1	⑬ 権利擁護に関する支援	44
⑦ 家族関係・人間関係に関する支援	134	⑭ その他福祉に関する支援	2
合 計			1,503

4) 定例会議

障害者相談支援事業所連絡会	23 回
浜北区自立支援連絡会事務局会議	12 回

3 利用者状況

実相談人数	121 人
(うち 30 年度新規受付人数)	(14 人)

障害別	延人数	障害別	延人数
重度心身障害	0	知+精	248
身体障害	7	身+精	3
知的障害	59	3 障害	23
精神障害	985	高次脳	25
難病	2	発達	145
身+知	0	不明	6
		計	1503

年齢別	延人数
高等学校	0
成人前期（*）	787
成人後期（*）	605
高齢者	106
不明	5
計	1503

* 成人前期：18歳～39歳 成人後期：40歳～64歳
 浜松市委託相談支援の実績報告マニュアルに基づいて集計

平成 30 年度 特定相談支援事業所 ぼるた 事業報告

1 総括

昨年度に続き相談支援専門員の変更があり、関係性を築いていくことに注力した 1 年でありました。年間を通して新規相談もコンスタントにあり、17 件の登録があり、終了者は 2 件でした。

今年度開設された基幹相談支援センターとの協働が昨年にはなかった動きとして特徴的であるといえます。緊急性のあるケースの協働や相談などを行いました。基幹相談支援センター以外との関わりも意識的に行うことができたと思います。主にサービス提供事業所との関係を築くために、訪問を重視しての情報共有やケース相談、サービス担当者会議の活用などを積極的に行いました。

昨年度と今年度のサービス利用の比較としては、就労 A 型、居宅介護、短期入所の利用（計画作成）が増えています。短期入所では居場所作りや休息、または将来のために慣れておきたいとの理由が多くなっていると感じます。親亡き後の不安は多くの家庭から聞かれている状況であると考えられます。

新規計画相談の経路としては、サービス提供事業所や医療機関からの依頼、委託相談から計画相談に移るケースが主な経路としてあげられます。近年の状況として新規相談の受け入れが困難となってきていることは大きな課題で、今後検討が必要であると考えます。業務の効率化や人材の発掘・育成も次年度以降の課題としてあげられます。

2 支援内容

1) 重点目標の振り返り

重点目標

- ・利用者の生活全体をアセスメントし、エンパワメントにつながる効果的なはたらきかけを模索します
- ・事業所の枠を超えて、みんなが協力して支援を行うための関係づくりを積極的にしていきます
- ・以上を行うために、必要な専門性を身につけるために自己研さんに励みます

振り返り

利用者の置かれている状況の把握と今後の生活に対する思いを聞くことを中心に面談を行えました。特に福祉サービス提供事業所との関係性を作るため訪問等で直接顔を合わせられるよう意識しました。

浜松市障害者相談支援事業所連絡会、浜松市相談支援専門員連絡会の企画・研修にも、積極的に参加してまいりました。

2) 具体的支援内容

① 実施人数

99 人（※参考 29 年度実績：90 人、28 年度実績：104 人、27 年度実績：100 人）

② おもな計画内容

利用事業	29年度(人)	30年度(人)
就労継続支援 A 型	11	15
就労継続支援 B 型	30	29
就労移行支援	6	7
自立訓練（生活訓練）	7	6
生活介護	13	19
施設入所支援	0	1
短期入所	31	34
居宅介護	21	26
グループホーム体験利用	1	1
利用契約のみ	0	0
計	120	138

※実施人数と、計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため。

③ 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	2	1	1	0	0	1	0	2	3	2	3	2	17
モニタリング数	23	20	29	18	20	21	17	19	26	17	22	31	263
更新	8	3	6	9	10	4	12	9	6	11	6	4	80

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし